

ア 会館象徴事業 3事業

No.1 愛知県合唱祭（同時開催：全日本おかあさんコーラス愛知県大会）	
日 程	6月11日（土）・12日（日）
会 場	大ホール、中ホール
入 場 料	一般500円、小中高生300円
入場者数	無観客（関係者のみ 2,436人）
収 支	収 益 0円
	費 用 653,550円
	差引額 △ 653,550円
結 果	無観客の開催としましたが、一昨年よりも参加団体は増加し、106団体が集う催事となりました。 また、稲沢市音楽協会の会員に対し観覧機会を提供しました。

No.2 愛知県合唱コンクール	
日 程	8月6日（土）・7日（日）
会 場	大ホール
入 場 料	一般1,000円、小中高生700円
入場者数	一般803人、小中高生371人、合計1,174人
収 支	収 益 0円
	費 用 709,100円
	差引額 △ 709,100円
結 果	有観客で実施し、2日間で約1,100名の来場者を迎えることができました。 また、友の会及び稲沢市音楽協会の会員に対し観覧機会を提供しました。

No. 3 NHK全国学校音楽コンクール		
No. 3-1 愛知県コンクール		
日 程	8月23日(火)・24日(水)	
会 場	大ホール	
入 場 料	無料	
入場者数	1,141人	
No. 3-2 東海北陸ブロックコンクール		
日 程	9月10日(土)・11日(日)	
会 場	大ホール	
入 場 料	無料	
入場者数	1,404人	
収 支	収 益	0円
	費 用	940,858円
	差引額	△ 940,858円
結 果	愛知県コンクール、東海北陸ブロックコンクールともに、新型コロナウイルス感染拡大防止を徹底し、有観客で実施しました。 今年度から会館敷地内に横断幕を設置し、開催地であることをアピールしました。	

イ 連携事業 6事業

No. 4 セントラル愛知交響楽団連携事業	
No. 4-1 公開講座、公開リハーサル	
日 程	5月19日(木) 6月17日(金) 9月22日(木) 11月23日(水) 1月12日(木) 3月10日(金)
会 場	公開講座 : 小ホール 公開リハーサル : 大ホール(5月~9月)、中ホール(11月~3月)
入 場 料	無料
入場者数	公開講座 : 361人 公開リハーサル : 487人 合計 848人
収 支	収 益 0円
	費 用 1,152,504円
	差引額 △ 1,152,504円
結 果	貴重な文化体験の機会を計画どおり提供することができました。 また、大ホール天井改修工事の影響により、11月以降は実施会場を中ホールに変更しましたが、ステージ、客席共にトラブルなく実施することができました。
No. 4-2 名曲コンサート「第12回稲沢特別演奏会」	
日 程	3月11日(土)
会 場	中ホール
入 場 料	1,500円
入場者数	348人
収 支	収 益 0円
	費 用 184,410円
	差引額 △ 184,410円
結 果	本格的なフルオーケストラによる演奏会のプログラムにジブリ作品を組み込んだことで、多くのファミリー層の来場者を獲得することができました。 なお、入場料収入は全額共催相手の収入とし、出演料等は共催相手の費用としたため、収益はありませんが、費用は低額に抑えることができました。

No.5 ファミリープログラム「海外作品：えんどうまめとおひめさま」	
日 程	8月10日（水）
会 場	中ホール（3回公演）
入 場 料	大人1,000円 小学生以下500円
入場者数	①53人、②44人、③39人 合計136人（無料の2歳以下を含む）
収 支	収 益 103,750円
	費 用 718,915円
	差引額 △ 615,165円
結 果	愛知県芸術劇場と連携し、スムーズに開催することができました。内容が分かりにくいという意見もありましたが、国内の作品では創り出すことのできない世界観を提供することができました。

No.6 音楽家の集い	
No.6-1 vol.90 後藤浩二クインテッド「スペシャルジャズライブ」	
日 程	4月16日（土）
会 場	中ホール
入 場 料	1,000円
入場者数	173人
No.6-2 vol.91 ゲオルギ・シャシコフ「ファゴットリサイタル」	
日 程	6月18日（土）
会 場	中ホール
入 場 料	1,000円
入場者数	128人
No.6-3 vol.92 尾高詩音里&新庄龍馬「デュオリサイタル」	
日 程	8月5日（金）
会 場	中ホール
入 場 料	1,000円
入場者数	66人
No.6-4 vol.93 峰岸桂子&ルイス・サルトル「ラテンの魅力」	
日 程	9月17日（土）
会 場	中ホール
入 場 料	1,000円
入場者数	84人

No. 6-5 vol. 94 天神山ブラスアンサンブル & Brass Choir ACADEMIA	
日 程	11月20日(日)
会 場	中ホール
入 場 料	1,000円
入場者数	80人
No. 6-6 vol. 95 水野慎太郎&生田直基「ホット・ブラザーズ」	
日 程	1月9日(月)
会 場	中ホール
入 場 料	1,000円
入場者数	64人
収 支	収 益 418,820円
	費 用 1,050,925円
	差引額 △ 632,105円
結 果	<p>全公演を無事に実施することができましたが、集客について依然改善できておらず、工夫が必要です。</p> <p>なお、公演制作の委託先との契約により、招待券の発行を行っているため、入場者数に比べて収益は低額となっています。</p>

No.7 エレクトーンフェスティバル		
No.7-1 エレクトーンフェスタ-BAL「めっちゃエレ」		
日 程	8月12日(金)	
会 場	中ホール	
入 場 料	無料	
入場者数	100人	
No.7-2 エレクトーンフェスタ-BAL「Live! De La DAGANE vol.11」		
日 程	8月13日(土)	
会 場	小ホール	
入 場 料	前売2,000円、当日2,500円	
入場者数	130人	
No.7-3 エレクトーンフェスタ-BAL「アニソン JACK!」		
日 程	8月14日(日)	
会 場	中ホール	
入 場 料	無料	
入場者数	125人	
収 支	収 益	5,780円
	費 用	1,009,387円
	差引額	△1,003,607円
結 果	<p>電子オルガンの魅力を異なるコンセプトによる3公演で発信する事業として実施。プロの演奏者、名古屋音楽大学と一般の出演参加者がそれぞれに力を合わせる機会を創造することができました。これを地域の文化として浸透させていくことを意識し継続していきたいと考えています。</p> <p>なお、公演の企画運営者との協定により、入場料収入のうち当財団販売分の10%を当財団の収入としたため、収益は低額となっています。</p>	

No.8 名古屋文理大学制作公演 「サウンド制作ゼミ公演 (Over the Moon)」	
日 程	9月23日(金)
会 場	中ホール
入 場 料	前売2,200円、当日2,400円
入場者数	89人
収 支	収 益 198,460円
	費 用 673,452円
	差引額 △474,992円
結 果	「名古屋文理大学制作公演」と銘打ち、大学との連携による新たな展開を目指した事業として、大学のサウンド制作ゼミに所属する学生が企画するという、これまでにない構成の公演を実現することができました。しかしながら、集客については目的を達成することができませんでした。

No.9 ワンコインコンサートスペシャル音楽三昧	
日 程	3月4日(土)・5日(日)
会 場	中ホール、小ホール
入 場 料	3/4 中ホール (いなッピー) : 無料
	3/4 小ホール (弦楽四重奏) : 500円
	3/5 小ホール (チェンバロ) : 500円
	3/5 中ホール (合唱) : 1,000円
入場者数	3/4 中ホール (いなッピー) : 265人
	3/4 小ホール (弦楽四重奏) : 103人
	3/5 小ホール (チェンバロ) : 113人
	3/5 中ホール (合唱) : 460人
収 支	収 益 603,450円
	費 用 3,439,234円
	差引額 △2,835,784円
結 果	本来は大ホールを想定している企画でしたが、改修工事の影響により、企画の中心となるプログラムを中ホールに合わせて実施しました。合唱団の練習活動も含め、長期間にわたるプロジェクトを安全に開催することができました。

ウ 育成事業 3事業

No.10 響け!! 未来の音楽家	
No.10-1 バンドクリニック編	
日 程	5月7日(土)
会 場	コンテスト、講習会：大ホール、小ホール 特別演奏会：中ホール(2回公演)
参加費	10,000円(中学校1校当たり)
入場料	1,000円(特別演奏会の一般観覧者(保護者等)は有料)
入場者数	講習会参加 4校(350人) 特別演奏会 学生234人、一般97人、合計331人
収 支	収 益 135,000円
	費 用 1,580,633円
	差引額 △1,445,633円
結 果	講習会参加は4校。コロナ禍での部活動停滞と教員の多忙化や指導力の差により、参加できる状態に仕上がらないことが原因であると分析しています。
No.10-2 個人クリニック編「楽器別講習会」	
日 程	11月5日(土)
会 場	中ホール棟
参加費	500円
参加者数	120人
収 支	収 益 60,000円
	費 用 461,008円
	差引額 △401,008円
結 果	新型コロナウイルスの感染状況が改善しつつあることと、対策が確立してきたことから、愛知県小中学校吹奏楽連盟西尾張支部との協議により、個別の楽器講習会を実施しました。

No. 11 稲沢の音楽家シリーズ	
No. 11-1 坂田晃一プロデュース公演「vol.1 弦」	
日 程	10月9日(日)
会 場	中ホール
入 場 料	3,000円
入場者数	100人
収 支	収 益 295,200円
	費 用 906,467円
	差引額 △ 611,267円
結 果	稲沢市在住のコントラバス奏者である坂田晃一氏がプロデュースする演奏会シリーズとして、今回は弦楽器をテーマに開催しました。内容は洗練されたものでしたが、集客に反映させることができず、PR方法の工夫が必要です。

No.12 ANETあそび塾 「創作オペラ ヘンゼルとグレーテル」	
日 程	8月17日(水)
会 場	大ホール
参 加 費	1,000円
参加者数	参加者28人、発表公演入場者65人
収 支	収 益 28,000円
	費 用 452,196円
	差引額 △ 424,196円
結 果	愛知県芸術協会(ANET)との協働により、コロナ禍においても計画どおり開催することができました。企画としては、参加人数に限られることが課題であり、更なる工夫が必要です。

エ 機会提供事業 3事業

No.13 避難訓練コンサート ～もしもコンサート中に災害が起きたら～	
日 程	10月23日(日)
会 場	中ホール
入 場 料	無料
入場者数	151人
収 支	収 益 0円
	費 用 87,818円
	差引額 △ 87,818円
結 果	<p>この事業の目的のひとつに、地域の文化団体の発表の場とすることを掲げており、その目的を達成するとともに、市民の防災意識を高める公演を開催することができました。</p> <p>今年度は稲沢市音楽協会所属の稲沢市民吹奏楽団が出演し、いなっぴーレインボーアンサンブルとの共演が実現しました。引き続き、音楽協会と良好な関係を築きます。</p>

No.14 アウトリーチ	
No.14-1 名古屋文理大学 「アート&コンサート」	
日 程	11月8日(火)
出 演	松井瑠佳(ハープ)、河合裕二(チェロ)
参加者数	30人
収 支	収 益 0円
	費 用 35,208円
	差引額 △ 35,208円
結 果	<p>荻須記念美術館が主催する企画『名古屋文理大学連携講座・稲沢市文化振興財団出張演奏会「アート&コンサート」』として実施しました。特別展のイメージに基づいたミニコンサートを実現できるアーティストを手配しました。</p>

No. 15 こどもの芸術鑑賞支援事業「いなっピーからのおくりもの」	
対象公演	3月11日（土） 名曲コンサート「第12回稲沢特別演奏会」
招待者数	こども16人、保護者11人 合計27人
収 支	収 益 0円
	費 用 43,680円
	差引額 △ 43,680円
結 果	今年度から、ひとり親家庭のお子様（小中学生）と保護者を招待する仕組み（公募）で実施しました。申込が大きく増えたわけではありませんが、これまでの方法に比べて手応えを感じています。

オ 娯楽事業 2事業

No. 16 稲沢市民寄席	
No. 16-1 桂宮治落語会	
日 程	7月1日(金)
会 場	中ホール
入 場 料	3,000円
入場者数	448人
収 支	収 益 1,373,100円
	費 用 975,598円
	差引額 397,502円
結 果	<p>来場者数、費用面共に目標を達成することができ、娯楽事業として理想的な結果であると分析しています。</p> <p>しかしながら、この要因は桂宮治人気によるところが大きく、この関係を良好に継続することが重要です。</p>
No. 16-2 古今亭文菊独演会	
日 程	1月7日(土)
会 場	小ホール
入 場 料	2,000円
入場者数	168人
収 支	収 益 350,600円
	費 用 364,274円
	差引額 △ 13,674円
結 果	<p>マスコミなどへの露出は少なくとも実力のある噺家として注目されている古今亭文菊師匠の独演会を開催し、目標を上回る入場者数を得ることができました。</p>

No.17 ファミリーコンサート 鉄道物語 in 稲沢	
日 程	10月16日(日)
会 場	大ホール きかんしゃトーマスファミリーミュージカル 小ホール 鉄道トークショー、鉄道模型コーナーほか
入 場 料	大ホール 2,500円 小ホール 無料
入場者数	大ホール ① 360人、② 586人 合計 946人 小ホール 900人
収 支	収 益 2,420,650円
	費 用 4,904,815円
	差引額 △ 2,484,165円
結 果	<p>「稲沢まつり」のイベントの一環として実施しました。</p> <p>また、メインイベントを「きかんしゃトーマス」のファミリーミュージカルとし、多くのファミリー層に会場していただきました。</p> <p>一方、小ホールの入場無料イベント(鉄道模型コーナー)の来場者数が想定を超え、若干混乱をきたしました。</p> <p>稲沢の定番イベントとしての存在感を確立しつつ、快適にお楽しみいただける仕組みを工夫して、魅力あるファミリーイベントとしての価値を更に高めます。</p>

カ 誘致事業

No.18 うりんこベイベーシアター 「まるまる」	
日 程	7月14日(木)
会 場	小ホール
入 場 料	1,000円(親子1組)
入場者数	14人(7組)
収 支	収 益 175,680円
	費 用 85,090円
	差引額 90,590円
結 果	<p>愛知県芸術劇場が主催し、県内を巡回する公演である「ベイベーシアター」という乳幼児対象の公演を誘致しました。このプロジェクトに参加することで当館のネットワークを強化し、人材育成の機会とすることができました。</p>

キ 友の会

No. 19 友の会	
特 典	イベントニュース等の送付、チケットの先行販売、割引販売等
会 費	1,000 円
会 員 数	132 人 ※令和 5 年 3 月 31 日現在
収 支	収 益 132,000 円
	費 用 64,160 円
	差引額 67,840 円
結 果	<p>会員期間を入会日から1年間としたことで、どのタイミングで入会しても公平なサービスを提供できるようになり、先行販売や割引などの会員特典を公演情報と合わせて発信することで、販売促進を目指します。</p> <p>一方、継続のタイミングが会員毎に異なるため、継続手続き漏れが起きています。適切なタイミングで案内する工夫が必要です。</p>

(2) 勤労福祉会館事業

セントラル愛知交響楽団との連携事業「いなっぴーレインボーアンサンブル」は、4年目を迎え第4期として実施しました。また、愛知文教女子短期大学との連携講座として、ワークショップを2講座開催しました。

No.1 いなっぴーレインボーアンサンブル		
○練習		
日 程	5月15日(日)～2月26日(日) 合計20回	
練習会場	勤労福祉会館多目的ホールほか	
参加費	月額3,000円 高校生以下2,000円	
参加者数	団員数61人	
○発表会		
日 程	3月4日(土)	
会 場	市民会館中ホール	
入 場 料	無料	
入場者数	265人	
収 支	収 益	173,600円
	費 用	188,467円
	差引額	△14,867円
結 果	96名の応募があり、61名の団員で活動を実施しました。継続団員の継続期限を設けることで新規の団員を受け入れる余地を生み出し、団員の固定化を防いでいます。合奏を楽しみ、交流する生涯学習の機会として確立しつつある手応えを感じています。一方、地域の文化振興の活性化のために、卒業後の活動サポートが必要です。	

No.2 愛知文教女子短期大学協働講座		
No.2-1 稲沢の盆踊り！みんなで輪になって踊ろう♪		
日 程	8月2日(火)・3日(水)	
会 場	稲沢市勤労福祉会館 多目的ホール	
受講料	300円	
参加者数	38人	
収 支	収 益	11,400円
	費 用	78,854円
	差引額	△67,454円
結 果	稲沢の盆踊りを正しく継承することを目的にした講座として企画し、目的に沿った内容で実施することができました。指導者を「継承」することも課題であり「わつなぎ」というグループの育成も含め、今後の盆踊り講座の確立を目指します。	

No. 2-2 ミニ盆栽ワークショップ	
日 程	11月27日(日)「秋を彩るカマツカコケモモのミニ盆栽」 2月25日(土)「春を彩る桜のミニ盆栽」
会 場	稲沢市勤労福祉会館 第6研修室
受 講 料	500 円
参加者数	11月・20人、2月・20人の合計40人
収 支	収 益 20,000 円
	費 用 30,250 円
	差引額 △ 10,250 円
結 果	2講座とも定員に達し、運営も予定どおり実施することができました。提供する内容が需要に一致していることを実感しています。

(3) 受託事業

事業等運営の受託		
No.1 稲沢市戦没者追悼式		
日 程	8月16日(火)	
会 場	中ホール	
収 支	収 益	1,999,800 円
	費 用	1,823,755 円
	差引額	176,045 円
結 果	稲沢市市民福祉部福祉課から稲沢市戦没者追悼式運営業務を受託し、舞台運営、駐車場の案内、施設確保、演奏者の手配に係る業務を実施しました。	
No.2 稲沢市敬老式		
日 程	9月19日(月)	
会 場	大ホール	
結 果	事業中止のため受託なし	
No.3 稲沢市まちづくり連絡協議会 40周年記念事業		
日 程	1月14日(土)	
会 場	中ホール	
収 支	収 益	2,299,000 円
	費 用	2,000,791 円
	差引額	298,209 円
結 果	稲沢市まちづくり連絡協議会から稲沢市まちづくり連絡協議会 40周年記念事業運営業務を受託し、舞台運営、駐車場の案内、司会者の手配、施設確保、余興の手配、印刷物の作成に係る業務を実施しました。	

チケット販売等の受託	
No.1 貸館公演チケットの販売業務	
内 容	8公演、計105枚
No.2 名古屋文理大学公開講座の受付業務	
内 容	5講座、計68人
収 益	(販売) 10,250 円、(受付) 6,450 円 合計 16,700 円
結 果	依然、コロナ禍の影響はありますが、取り扱い公演が少しずつ増えてきました。

2 施設の管理運営

各施設とも新型コロナウイルス感染防止対策を適切に行い、安全で快適な施設の管理、サービスの提供に努めてまいりました。

施設の利用状況は回復してきており、利用件数等及び使用料徴収額について、一部施設を除き、前年度の実績を上回りました。市民会館大ホールについては、天井落下防止対策の改修工事により5か月間利用停止したため、利用件数等は前年度を下回りました。

(1) 稲沢市民会館の運営

ア 施設利用実績（楽屋は除く）

①年間利用件数

区 分	見込み	実績	前年度実績	前年度比
大ホール	110 件	124 件	185 件	67.0%
中ホール	150 件	240 件	160 件	150.0%
小ホール	270 件	364 件	284 件	128.2%
練習室等 11 室	2,090 件	2,530 件	2,148 件	117.8%
合 計	2,620 件	3,258 件	2,777 件	117.3%

②年間利用者数

区 分	見込み	実績	前年度実績	前年度比
大ホール	28,000 人	44,443 人	47,652 人	93.3%
中ホール	18,900 人	41,507 人	21,521 人	192.9%
小ホール	11,800 人	22,548 人	13,017 人	173.2%
練習室等 11 室	21,400 人	28,693 人	22,165 人	129.5%
合 計	80,100 人	137,191 人	104,355 人	131.5%

③年間利用日数

区 分	利用可能 日数	利用日数	利用率		
			今年度	前年度	増減
大ホール	179 日	118 日	65.9%	59.8%	+6.1
中ホール	303 日	220 日	72.6%	49.2%	+23.4
小ホール	318 日	273 日	85.8%	75.6%	+10.2
練習室等 11 室	3,667 日	1,962 日	53.5%	47.5%	+6.0
合 計	4,467 日	2,573 日	57.6%	50.3%	+7.3

イ 使用料徴収実績 (楽屋を含む)

区 分	見込み	実績	前年度実績	前年度比
施 設	23,930,000 円	32,411,680 円	32,418,520 円	100.0%
付属設備	7,570,000 円	11,503,960 円	10,141,190 円	113.4%
合 計	31,500,000 円	43,915,640 円	42,559,710 円	103.2%

ウ 市民サービスと利便性の向上

- (ア) ホール催事の円滑な開催のため、ホール利用者との利用打合せを行いました。
 (イ) 貸館公演のチケットの受託販売を行いました。

(2) 稲沢市勤労福祉会館、稲沢市総合体育館の運営

ア 施設利用実績

(ア) 勤労福祉会館

①年間利用件数

区 分	見込み	実績	前年度実績	前年度比
多目的ホール	400 件	433 件	301 件	143.9%
研修室 6室	1,700 件	1,879 件	1,465 件	128.3%
会議室 5室	1,600 件	1,455 件	1,177 件	123.6%
日本間 2室	300 件	296 件	198 件	149.5%
合 計	4,000 件	4,063 件	3,141 件	129.4%

②年間利用者数

区 分	見込み	実績	前年度実績	前年度比
多目的ホール	55,100 人	37,705 人	24,898 人	151.4%
研修室 6室	38,100 人	38,028 人	32,806 人	115.9%
会議室 5室	30,300 人	20,366 人	16,248 人	125.3%
日本間 2室	5,600 人	3,392 人	2,133 人	159.0%
合 計	129,100 人	99,491 人	76,085 人	130.8%

③年間利用日数

区 分	利用可能 日数	利用日数	利用率		
			今年度	前年度	増減
多目的ホール	350 日	237 日	67.7%	52.6%	+15.1
研修室 6室	2,100 日	1,110 日	52.9%	49.0%	+3.9
会議室 5室	1,750 日	846 日	48.3%	42.7%	+5.6
日本間 2室	700 日	195 日	27.9%	20.1%	+7.8
合 計	4,900 日	2,388 日	48.7%	42.9%	+5.8

(イ) 総合体育館

①年間利用件数

区 分	見込み	実績	前年度実績	前年度比
専用利用	1,000 件	1,737 件	671 件	258.9%
トレーニング・サウナ	700 件	349 件	158 件	220.9%
合 計	1,700 件	2,086 件	829 件	251.6%

②年間利用者数

区 分	見込み	実績	前年度実績	前年度比
専用利用	74,000 人	74,600 人	18,573 人	401.7%
トレーニング・サウナ	700 人	349 人	158 人	220.9%
合 計	74,700 人	74,949 人	18,731 人	400.1%

③年間利用日数

区 分	利用可能 日数	利用日数	利用率		
			今年度	前年度	増減
専用利用	1,050 日	712 日	67.8%	71.8%	△4.0
トレーニング・サウナ	335 日	181 日	54.0%	86.4%	△32.4
合 計	1,385 日	893 日	64.5%	73.8%	△9.3

※専用利用は、アリーナ、武道室兼卓球室及びボクシング室

イ 使用料徴収実績

区 分	見込み	実績	前年度実績	前年度比
勤労福祉会館	6,000,000 円	4,895,490 円	4,625,150 円	105.8%
総合体育館	9,400,000 円	7,841,670 円	3,754,800 円	208.8%
合 計	15,400,000 円	12,737,160 円	8,379,950 円	152.0%

(3) 各施設共通

ア 施設の維持管理、防災

舞台管理業務や設備管理業務、清掃業務等を、業務委託により実施しました。

また、消防訓練を年2回実施しました。

イ 市民サービスと利便性の向上

利用者の意見や要望等を把握するため、サービス評価アンケートを実施し、利用者サービスの向上に努めました。